

2021年度 西シドニー大学国際交流プログラムに参加して

2022年2月28日から3月11日までの2週間、西シドニー大学国際交流プログラムに参加しました。この研修はオンラインで開講され、授業ではアカデミック英語、SDGs、オーストラリア文化などについて学びました。

研修に参加した理由

私が今回の研修への参加を考えたのは、実際に使える英語を身に付けたいと思っていたからです。これまで長い間英語を学習し続けているにも関わらず、海外の英語の先生と交流するときには英語での会話に極度に緊張してしまい、なかなか思っていることを伝えられない自分から成長したいと強く思い、海外からの学生と一緒に学べる本研修を魅力的に感じました。さらに、本研修は英語を学ぶ EAP (English for Academic Purposes) クラスの他に SDGs やオーストラリア文化など、英語を使って学生が意見を考える講義もあり、英語で自らの考えを伝える訓練になるのではないかと期待し、参加を決めました。

1日あたりのスケジュール (日本時間)

9:00~11:00	11:00~11:30	11:30~13:30	13:30~
1時間目の授業	休憩	2時間目の授業	各種課外活動 課題

研修内容

1週目の EAP クラスでは、事前プレイスメントテストによりクラス分けがされるので、自分のレベルに合った教材と環境でアカデミック英語を学ぶことができます。EAP クラスでは「聞く、読む、話す、書く」の4技能、英文の構造や品詞、語彙などアカデミックスキルを全般的に学ぶことができました。また、グループワークが何度もあったので、海外の学生とも交流することができ、英語学習のモチベーションや刺激になりました。

2週目のクラスでは、SDGs の基礎的な知識から世界で取り組まれている活動などを、動画やグループワークを通して学びました。西シドニー大学で SDGs を研究されている先生方からのレクチャーもあり、SDGs をより自分ごととして考え直すきっかけとなりました。オーストラリア文化に関する講義は、オーストラリアの食や動物だけでなく、オーグースラングも、クイズを通して楽しく覚えることができました。さらにキャリア講義では実際に入社面接をロールプレイで行いました。

課外活動

研修期間中は、西シドニー大学が提供する数多くのデジタルツールを利用することができ、授業時間以外でも進んで学習をすることができる環境でした。以下で4つに分けて紹介します。

- ①学習教材の公開：西シドニー大学が独自に作成した問題集が、技能別・レベル別に公開されており、自分の苦手分野を、自分のレベルに合わせて学習することができます。私は特にリスニング教材を多用しました。
- ②デジタル図書館：ここでは自分の目的に合わせて様々な種類の書物を借りることができます。私の場合は

プレゼンテーションスキルに関する本をじっくりと読み進めることができました。

③LinkedIn Learning：ここでは多様なジャンルの動画を視聴することができます。私は「Unconscious Bias」「Learning Design」などの4つのコースを視聴し、修了証をもらうことができました。LinkedIn Learningではビジネススキルや情報処理スキルなど、普段はなかなか学べない、かつ独学では難しい事柄を学ぶことができるので、受講する分だけ世界が広がったように感じています。

④Western Life：こちらは西シドニー大学の学生のためのクラブ活動です。私はヨガクラブに参加しましたが、他にはビンゴやチェスなどのゲームをするクラブ、クイズなど通して学生同士が交流するクラブ、政治について話し合うクラブなどなど、枚挙にいとまがありません。

研修から学んだこと

今回の研修では、英語スキル、異文化との交流、デジタルリテラシー、SDGsやオーストラリア文化など、一つ一つの活動から学びを得ることができました。そんな中でも特に、「英語をとりあえず話してみる」ことの重要性や効果を実感しました。今後はさらに「相手に伝わる英語」を習得するための訓練を積み重ねなければなりません。とにかく挑戦してみることで自分を変えることができるとわかりました。この発見は自信にもつながり、言語学習へのモチベーションになりました。

参加を検討している方へ

今回の研修を通して、自分の口で実際に外国語を使うことが、外国語を習得するための効果的な一つの方法だと感じています。西シドニー大学国際交流プログラムでは、英語4技能を学びつつも、それらを使って自分の主張を考えるSDGsなどの講義も充実しており、英語が好きだけど話す自信はない、ネイティブの英語を聞き取れないかもしれない、など英語に不安を感じている人ほど参加してほしいプログラムです。本プログラムは、日本にいながら少人数クラスの授業に参加することで、実際に使える英語感覚を掴むことができ、さらにデジタルツールを用いた学習を体験できます。現地渡航よりもずっと参加しやすいオンラインプログラムですので、英語力を伸ばしたい方はぜひ、一步を踏み出して参加してみてください！